原っ子

学校だより №18（通算61号）
令和５年７月１４日
小郡市立大原小学校
校長　山本貴澄　Tel 72-5500

合言葉「チャレンジ！　みんなでまなぶ　やりとげる」

平和集会　６年生平和学習の発表
～私たちが修学旅行で学んだこと～

昨日、平和集会があり、６年生が１年生から５年生に向けて修学旅行で学んだ平和学習について発表してくれました。長崎に投下された原子爆弾、永井博士、平和フィールドワークで巡った史跡、被爆した池田さんの話などを分かりやすくプレゼンテーションしてくれました。非核三原則やロシアとウクライナの戦争についても伝えてくれました。特に感動したのは、劇での発表です。戦時下の生活や原爆直後の様子をリアルに表現していました。みんな６年生の思いをしっかりと受け止め、真剣に見て聞いて平和について考えることができました。この学びを夏休み出校日の平和学習へつなげていきます。

「チャレンジ！ みんなで学ぶ やりとげる」姿が６年生をはじめ、全校のみんなに見られました。この姿もきっと平和を大切にすることにつながります。６年生のみなさん、これまでの準備や練習大変でしたね。本当にすばらしい発表をありがとうございました。

【６年生から平和を大切にするための提言】

私たちがいつものように学校に行ったり、おなかいっぱいご飯を食べたり、戦争がなく平和に暮らせているのは当たり前のことではありません。平和を大切にするために
・暴言、悪口を言わない　・自分のことだけではなく、ほかの人のことも考え、思いやりの心をもつ　ことが大切です。
自分の行動や言葉について、もう一度もう一度見直して考えていきましょう。

【３年生の感想】

わたしは、ながさきの原子ばくだんのおそろしさの話をきいて、二どと「せんそうがおきませんように」と思っていました。ばくだんのせいで、おおくの人のいのちがなくなっているので、人のいのちも自分のいのちも大切にしたいと思いました。原子ばくだんは、とてもおそろしいものだとしりました。６年生のえんぎもとてもじょうずでした。もっと平わのことがしりたいです。さいごに、６年生が言ってくれたように「自分の行動や言葉をもう一どもう一度みなおしをして考える」大原小にしていきたいです。

６年生のみなさんへ。わたしは、あのげきを見て、せんそうのことをよく知れました。ありがとうございます。一番心にのこったのは、家族がいなくなったということです。家族はいつもいっしょなのに、家族がいなかったらどんな気もちになるんでしょう。わたしは、そのことを考えると、とてもかなしい気もちになります。げきをしてくれて本当にありがとうございます。

【５年生の感想】

私は、おさないころに戦争で家族をなくしてしまった子どもがたくさんいたことにおどろきました。げきで、家族をなくしてしまった人たちはすごく悲しんでいたことが伝わってきました。今のウクライナとロシアの戦争では、長崎であった戦争と同じようなことが１年以上おきているので、平和な生活がおくれていなくてかわいそうだと思いました。戦争は楽しいことなんて１つもないので、絶対に戦争はしてはいけないと思いました。

６年生の発表の池田さんの話の「７さいのとき、お父さんとお母さんをなくされた」ということを聞いて、私だったらたえられないと思いました。こういう子たちがいっぱいいたと思うと戦争は二度とやってはいけないと感じました。戦争のときは、今みたいな生活はできないと思うと、あたりまえとは思ってはいけないと感じました。お弁当がいもやかぼちゃじゃないものをもってくると「てき」といわれるから、とてもざんこくだと思いました。

「６年生はすごいなあー」「げきでマイクを使わずに発表をしていたので、来年６年生をこえられるのかなあ」「もっと平和のことが知りたい」「ぼくも６年生になったら今の６年生みたいにせんそうのことをたくさん調べてきます」「６年生の発表はとてもわかりやすかった」など、６年生の頑張る姿に感動した感想がたくさんありました。